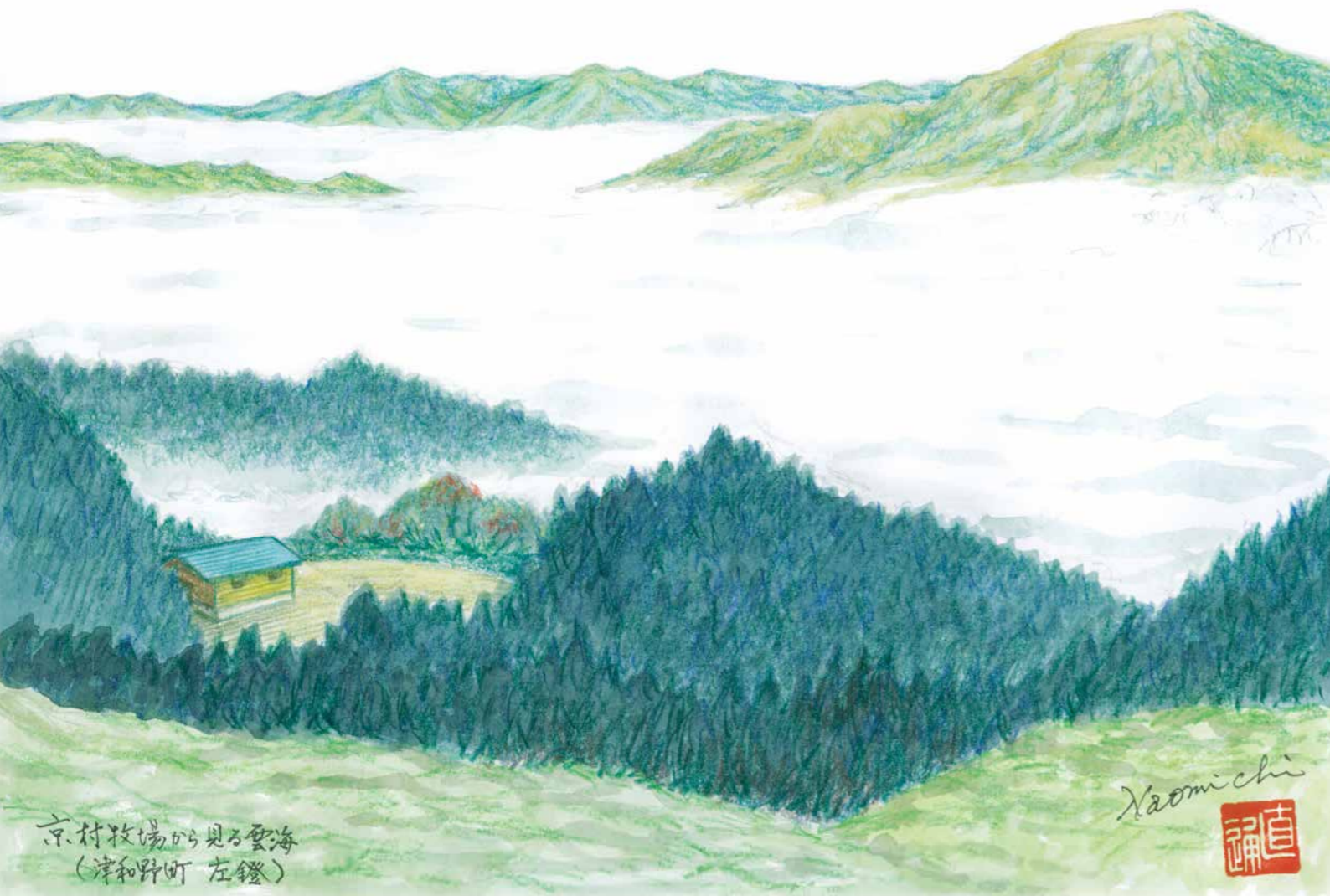


JALしまねびより

2020
1
January Vol.46

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「益田市 スイセン」 西いわみ地区本部



京村牧場から見る雲海
(津和野町 左鏝)

Naomichi
直

JALしまねびより

本誌は地産地消に
優しい植物油
植物油インキを
使用しております。

JALしまね 公式ホームページ
https://ja-shimane.jp/

2020年1月15日発行 (月1回発行)
編集/JALしまね ふれあい福祉課・雲南地区本部
発行/島根県農業協同組合 雲南地区本部
〒699-1395 雲南市木次町里方1088-6
TEL.0854-42-9000 FAX.0854-42-9100
Facebook: モチエック http://www.facebook.com/unnanja



JALしまね 雲南地区本部版

島根産まれの食材レシピ

しまねうれしび

料理研究家 土井小百合

かざりかまぼこ (・ばら・うさぎ)



お正月に残ったかまぼこを使い楽しい飾り切をしてみませんか。お弁当に入れたり、食卓にだしたり笑顔が増えますよ。

●材料

◆ばら◆	◆うさぎ◆
かまぼこ赤板……………1本	かまぼこ赤板……………1本
いんげん……………1本	ごま

●作り方

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| ◆ばら◆ | ◆うさぎ◆ |
| ①板かまぼこを2～3cmに1枚切る。薄く2枚切る。 | ①板かまぼこを幅2cmぐらいに切る。 |
| ②厚い1枚の真ん中に切れ目を入れる。 | ②かまぼこの赤と白の境目を入る。 |
| ③薄い2枚をくるくる巻き②のかまぼこの中に花になるように入れる。 | ③赤い部分をうさぎの耳になるように中に巻く。 |
| ④硬めに茹でたいんげんを斜めに切り葉に見えるように入れる。 | ④ごまで目を付ける。 |

かす汁



ほかほか体が温まる汁物がうれしい時期ですね。鮭の粕汁は寒い冬の汁物におすすめです。酒粕と甘めの味噌でこっくりした味に仕上げ、鮭を加えてボリュームをだすレシピです。冬においしい酒粕をぜひ試してみてください。火を通すのでアルコール分はなくなっています。

●材料 (4人分)

塩サケ……………100g	青ネギ……………20g
大根……………160g	酒粕……………40g
人参……………1/3本	みそ……………60g
里芋……………80g	だし汁……………800cc
薄揚げ……………1枚	

●作り方

- | | |
|----------------------|---|
| ①塩サケは塩抜きして1.5cm角に切る。 | ⑥野菜に火が通ったところに塩サケ、薄揚げ、溶かした酒粕を入れる。 |
| ②大根、人参は短冊切りにする。 | ⑦野菜が柔らかくなったら味噌を入れる。(塩サケの塩分がある場合は少なめてください) |
| ③里芋は1cmの輪切り。 | ⑧器に入れ小口切りの青ネギを入れる。 |
| ④薄揚げは0.5cmの千切り。 | |
| ⑤鍋にだし汁、野菜を入れて煮込む。 | |

牡蠣とねぎのそば



とろみのついたあんかけの「牡蠣とねぎのそば」は、いつまでも温かくて体を温めてくれます。牡蠣を入れたら煮すぎないのがポイントです。(牡蠣が硬くなります)

●材料 (2人分)

牡蠣……………1パック150g	水+めんつゆ……………400cc
白ネギ……………1本	しょうゆ……………少々
そば……………2玉	片栗粉……………大さじ2
ゆず……………少々	水……………大さじ3
七味……………少々	

●作り方

- | | |
|------------------------------|---|
| ①牡蠣は塩をふってもみ、流水の下で洗ってから水けを拭く。 | ⑥沸騰したら味をみて、しょうゆ少々を加え、白ネギが柔らかくなったら牡蠣を入れて、身がふくらとるまでさっと煮る。 |
| ②白ネギは長さ4～5cmの斜め切りにする。 | ⑦水溶き片栗粉を回し入れ、とろみをつける。 |
| ③ゆずは皮の部分だけ千切りにする。 | ⑧ゆでたそばに⑦をかけゆずと七味をかける。 |
| ④片栗粉と水を混ぜ合わせ、水溶き片栗粉を作る。 | |
| ⑤鍋に水とめんつゆ、白ネギを入れて煮る。 | |

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は津和野町左鏝の京村牧場から見る雲海です。盆地地形の津和野では、冷え込んで晴れた風の弱い朝などの条件が揃った時に「津和野の朝霧」と呼ばれる霧が発生します。映画「高津川」で主人公が営む牧場のロケ地となった京村牧場からは、眼下に広がる幻想的な雲海を見ることができます。(注:京村牧場は私有地ですので、無断の立ち入りはご遠慮ください)

編集後記

年末に発表される、1年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」。2019年は、新しい元号から『令』の文字が選ばれました。取材で大勢の方と出会えた私の、昨年を表す漢字は『会』。今年も県内各地での出会いを大切に、充実した誌面を作ります。12月には「今年の漢字は『成』」と皆様に報告できるように1年を過ごします。(和)

【今月の表紙の原画】

原画の全体は次のとおりです。



謹賀新年

初春のお慶びと
中がすぎます

代表理事組合長 石川 寿樹
代表理事副組合長 山根 盛治
代表理事専務 高木 賢一
代表 監事 名原 佳宏
役職員一同



代表理事組合長
石川 寿樹

新年あけましておめでとございます。
組合員の皆様には、健やかに新年をお迎
えのこととお慶び申し上げます。

今年も無事に新年を迎えられましたの
も、組合員の皆様をはじめ、地域の皆様の
ご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上
げます。

昨年は元号が令和に改まり、新しい時代
の幕開けとなりました。令和2年がJAし
まねにとって飛躍の年となりますよう役職
員一同、励んで参りたいと存じます。

また、昨年は全国各地で台風や豪雨など
多くの自然災害が発生し農産物や農業施設
等に甚大な被害が発生いたしました。被災
された皆さまに心よりお見舞い申し上げます
とともに、本年は災害のない穏やかな年
になりますことを願っております。

さて、JAしまねは本年3月で統合5周
年を迎えます。統合効果を更に実感あるも
のとし、組合員の皆様に目に見える形で還
元していくため、自己改革と事業改革を車
の両輪として位置づけ、スピード感を持つ

て取り組んでいかなければなりません。

自己改革においては、「農業者の所得増
大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の
3本柱を掲げて取り組んで参りました。
昨年6月には、島根県と「包括業務提携
に関する協定」及び「島根県農業産出額
100億円増の早期達成に向けた共同宣
言」を締結いたしました。JAしまねにお
いても「第2次農業戦略実践3カ年営農計
画」のもと、農畜産物販売高を39億円増や
し、416億円とする目標を掲げておりま
す。統合したことによるスケールメリット
を活かし、営農指導の強化や生産資材価格
の低減、また、U・イターン者の新規就農
支援や生産拡大を図る農業者のためのリー
ス事業の展開など、目標達成に向けて組合
員の皆様と共に取り組んでいく所存です。

これらを実現するためには、支援できる
経営の健全性確保に向けた取り組みが求め
られますが、日銀のマイナス金利政策や少
子高齢化等により信用・共済事業の収益減
少が避けられない状況にあります。このた
め、JAしまねの収支構造の迅速かつ抜本
的な改革を実施する必要に迫られており、
本店・地区本部一体となった組織再編が必
要であります。

まず一つ目は、信用事業のあり方の見直
しを図ります。本年2月末をもって各地区

本部の金融・共済部署を發展的解消し、本
店と地区本部の重複業務を本店に集約する
ことで機構、人員を見直し、信用事業のス
リム化・効率化を進めていきます。
また、金融店舗、ATM等については、
地域の生活基盤としての役割・利便性を確
保しつつ、採算性や効率性を十分検討し、
施設の集約や再配置、広域利用、運営方法
の見直しも平行して進めていきます。

二つ目の重要課題は営農経済事業改革で
あります。昨年より、経営基盤強化支援と
して、全農、農林中金、三菱総研にコンサ
ルトメントに入っていたいており、営農経
済事業の収支改善に向けた取り組みを進め
ております。

大変厳しい経営環境の中ではあります
が、今後も組合員、地域の皆様から、「信
頼され、選ばれ、必要としていただけるJ
A」を目指し、役員一丸となって改革を
推し進めて参ります。組合員の皆様におか
れまして、ご理解とご協力を賜りますよ
うお願いいたします。

結びに、組合員、地域の皆様にとりまし
て、本年が実り多く、健康で明るい年とな
りますようお祈り申し上げます、年頭の挨拶と
させていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

島根には誇れる農産品がたっぷり！

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

益田市 スイセン

1月は、西いわみ地区本部。益田市でスイセン作りに取り組む両見勝さんにお話を伺ってきました。



長いスイセンが良いとされるため、周りの雑草を支えとして利用する。そのため、わざと草刈りをしないそう。

あれば十分なのでコストを抑えながら栽培することが可能です。しかしここ最近では気候の変化のせいか「なかなか思うような花が咲かなくなってきた」と語る両見さん。それでも水仙部会の中で色々な情報をやり取りし、良さそうな肥料や植え付け方法を少しずつ試しながら現在も栽培に取り組んでいます。

いちばん寒い時期が 出荷のピーク

通常スイセンは、4月頃に葉っぱがすべて枯れ、しばらく過ぎた6月から球根を掘り起こします。その後、それらの球根を干しておき、9月頃に定植していきます。例年11月の半ばから花が咲き始め、12月には出荷の時期を迎えます。出荷する際にいちばん条



根元近くの「はかま」と呼ばれる部分。

スイセンが 地域を元気にする

毎年、鎌手小学校では「スイセン学習」と題し3年生の

件の良い状態は、「葉っぱが4枚、花が4つ」ついでいて、さらに「はかま」と呼ばれる球根の上にある白い筒状の部分の長さで優劣が決まるため、これを一本ずつ丁寧に分けていくのにとっても労力がかかります。また、スイセンの出荷ピークは一年で最も寒い時期。基本的に露地栽培なので、天気が悪い日の切り取り作業は非常に大変です。それでも出荷日は決まっているので、雨や雪が降ったり冷たい風が吹く中でも作業を行わなければなりません。

昔から身近にあった スイセン

スイセン栽培が盛んな益田市鎌手地区。スイセンは今や益田市の花として有名ですが、このあたりでは昔からあらゆる場所で自然に咲いていたそうです。両見さんが幼い頃は、自生していたスイセンを摘み取り、最寄り駅に持っていくと業者の人が車で広島の花市場まで届けてくれるような「お小遣い稼ぎ」の仕事組みがあったのだとか。その後、両見さんは郵便局員として働きながら米や麦を作る兼業農家をしていました。が、1970年代から始まった国の減反政策で稲作を少なくすることを余儀なくされま



お話を伺った両見勝さん。

した。また、畑では葉タバコを作る農家もありましたがそれも減少していき、皆が試行錯誤しながら生活する時代を送っていました。そんな時、隣の三隅町（現・浜田市）に火力発電所が建設されることになり、その予定地の用地買収が始まる前にお願いで、自生していたたくさんの方のスイセンの球根を掘らせてもらいました。1983年頃からそれらを休耕田に植え、商品用のスイセン栽培を本格的にスタートさせました。



整列して植えられたスイセン畑。

手探りで始めた スイセン栽培

スイセン栽培を始めた頃、何軒かの農家が集まり「鎌手

次の世代の人にも 届けたい

こうして、地域を元気にし交流の場を提供してくれるスイセンですが、年齢を重ねていくうちに畑での作業が体力的にきつくなってきたという両見さん。最近では、葉が枯れた後の球根をそのまま掘え置き栽培し、主に切り取り作業に専念しているそうです。水仙部会のメンバーも皆ほとんど高齢になつてきています。が、次の世代を担う若手の後継者がなかなかいないのが現状。昨今、ど



週3回の集荷日に合わせて切り取り作業を行う。



さわやかで柔らかい香り特徴のスイセン。益田市鎌手地区にある「唐音水仙公園」には、例年12月の終わりから2月にかけて白いスイセンが一面に広がります。日本海を背に広がるスイセンの丘の景色は圧巻で、写真を撮りに訪れる人もたくさんおられます。この公園のスイセンは鎌手地区の住民が何十年の間ひとつずつ球根を植えた言わば手作りの花畑。住民の思いが詰まった絶景を見に、ぜひ訪れてみてください。



雲南

雲南女性部大東支部
男の料理教室開催

J Aしまね雲南女性部大東支部は11月30日、雲南市大東町の佐世地区振興協議会の生涯学習部と共催で「男の料理教室」を同町の佐世交流センターで初めて開催しました。

参加者の募集は協議会が行い、32歳から72歳までの8人が集まりました。女性部は講師として参加。見事な包丁さばきを見せる参加者もあれば、日頃から調味料を目分量で加えている人は計量に四苦八苦するなど和気あいあいと進め、家の光協会が発行する『家の光』に掲載された「牛肉入りキムチごはん」「ハクサイのぐつぐつ煮」「カリフラワーの和風ポタージュ」の3品を作り上げました。家庭菜園で無農薬の野菜を作ることもある吉木文雄さんは「普段から簡単なみそ汁などは作っているが、今度は自家製の野菜を使って家族に振舞いたくなった」と笑顔で講座を振り返りました。

大東支部の高橋美佐子部長は「女性部のことを地区の男性に知ってもらえるいい機会になった」と話し、今後は他の地区にある活動団体とも協力して、女性部活動の輪の更なる拡大に意欲を見せます。



料理の手ほどきをする女性部員

くにびき

防犯訓練実施！
職員が防犯の意識高める

くにびき地区本部は12月6日、乃木支店で、松江警察署の協力のもと防犯訓練を実施しました。

同訓練は犯罪が増える年末に向け、防犯マニュアルや役割分担などの再確認と意識の高揚を図り、犯罪の未然防止や早期解決につなげることを目的に実施するものです。

当日は、店内に2人組の強盗が入ったという想定で訓練を開始。強盗に扮した警察官が来店者役の職員を人質にとり、本物さながらに金を出すように脅迫。職員はマニュアルに従い、非常通報装置を押ししたり、人質の救護をしたりするなど、緊張しながらも適切な対応をとりました。また、聞き込み役の警察官に、逃走した犯人の容姿や車両ナンバーなど、早期解決に向けた情報を伝えました。

訓練終了後、同警察署の生活安全課岡田仁係長は「何よりも命を守ることが重要。そのうえで、それぞれの役割を再度確認してほしい」と注意喚起し、春木透支店長は「職員全体で防犯意識を高めていきたい」と話しました。



早期解決に向け、情報を伝える職員

隠岐

ご来店感謝デーを実施

J Aしまねの全支店で12月13日（金）、日頃のご愛顧に対する感謝の意をこめて「ご来店感謝デー」を実施しました。隠岐地区本部では管内4か所の各支店・店の窓口において実施し、多くの組合員、J A利用者へご来店いただくため、店頭での看板告知やイベント開催予告チラシ配布を行い、当日には約300名のお客にご来店いただきました。ご来店いただいたお客様には、「年末に必要なお掃除用品や日用品の詰め合わせ」をプレゼントさせていただきました。ご来店された組合員からは「えっ、こんな物もらっている！ 今日来てラッキーだわ」など喜んでいただきました。

また、「J Aでホッと一息」をコンセプトに店舗内にコーヒーやお茶を楽しんでいただけるコーナーを設け、J Aと組合員とのコミュニケーションの場を設けさせていただきました。

J Aしまねは、今後とも組合員・利用者の皆様の期待に応えられるよう、一層取り組んで参りますので、引き続きのご愛顧をよろしくお願いいたします。



やすぎ

やすぎ苺 出荷本格化

島根県最大の苺産地である安来市で11月15日、今年度の共選出荷が始まり、これから出荷が本格化してきます。今の時期に出荷される苺は開花から40日以上かけており、手間ひまをかけた分糖度が増すためとても甘く、市場でも好評です。

やすぎ苺部会は、63戸の農家が584アールで栽培しており、U・Iターンの若手新規就農者からベテランまで幅広い層の農家で構成されています。出荷は来年5月末頃まで予定しており、島根と鳥取の5市場へ「紅ほっぺ」84.5トン「章姫」36.2トン「かおりの」12.1トン約1億5,900万円の販売を目標としています。

同地区本部の苺担当の黒田真一係長は「安来の苺は冬から春まで長期間にわたり出荷をしておりますので、ぜひ味わっていただきたいです」と話しました。



西いわみ地区本部 新鮮市場 あおの



野菜生産部会の木村大輔部会長

県内でも有数の観光地である津和野町。そんな津和野町の道の駅内にある産直「新鮮市場あおの」は、里山と「山陰の小京都」の食文化を支える山の幸が勢ぞろいし、観光客や地元の人々で賑わう。

今年の3月にリニューアルされた売り場に並ぶのは、全て津和野町産の新鮮な農産物と加工品。冷蔵・冷凍設備を新たに設置し、これまで以上に多彩な商品を扱えるようになった。約140人の野菜生産部会員から出荷される商品の中には、他の産直では見かけない珍しいものもあるという。当日も津和野産サトウキビが陳列されていて、取材班も驚いた。生産部会の木村大輔部会長は「県外からのIターン就農者による新しい



ガーリックオイルや
冬瓜ジャムなど
加工品も津和野産



小京都の冬を代表する
味覚のひとつ 葉ワサビ



陳列箱で津和野の
観光名所を紹介
さすが観光地の産直です

も、研修を終えた新規就農者が同産直へ出荷し、産直が賑わうことを心待ちにしている。

1月にはイチゴや葉ワサビといった冬の農産物が並ぶ。また、農産物が少なくなる冬の時期でも、道の駅近くの加工所を活用して加工品を充実させるなど、1年を通して訪れる人々にとって魅力的な産直となるよう創意工夫を凝らす。

道の駅 津和野温泉なごみの里には、同産直のほか、日帰り温泉やレストランが併設されており、津和野の新たな魅力を発見できる。津和野を訪れた際にはぜひ立ち寄りた。



冬が旬(!?)の
津和野産サトウキビ!

発想が、これまでの津和野になかった新しい物を生み出している」と新たな仲間の活躍を喜ぶ。ここ何年かIターンによる就農希望者が増えているという津和野町では、現在も数名が研修で農業を学んでいる。木村部会長



店名：新鮮市場 あおの
所在地：島根県鹿足郡津和野町鷺原イ256
(道の駅 津和野温泉なごみの里内)
TEL：0856-72-4122
営業時間：9:00～21:00
定休日：年中無休



産直へようこそ!!

可の農産物大地域の特産品「甘みそ」
島根県産の産直市場「あおの」
「新鮮市場あおの」



**西いわみ 就農相談バスツアー
生産現場を見学**

島根県主催の就農相談バスツアーが12月7日～8日にかけてあり、県外からの参加者が県内各地の生産者や生産法人、農林大学校などを巡り、経営や作業内容などを見学しました。

同ツアーには関東方面などから17名が参加。一行は県東部の出雲空港に降り立ち、初日は出雲市の生産者、大田市の県立農林大学校を訪ねました。

最終日は県西部の江津市、浜田市と益田市で法人や生産者を訪ねました。

益田市喜阿弥町の国営西部農地開発地でぶどう栽培面積110アールを手掛ける森原孝さん(44)のハウスを訪ねた一行は、森原さんに就農動機や経営規模、就農開始からの苦労や課題などを質問しました。

森原さんは、5年前の就農時に国や県、JAなどの支援事業が役に立ったと答え、参加者に就農時の作物選定にはブドウを選んでほしいと話しました。



**本店 シンガポールで西条柿をPR
販路拡大を目指す**

JAしまねと島根県は今シーズン、新規輸出先となるシンガポールのドン・キホーテ(現地店舗名: DON DON DONKI)で島根県産柿「西条」を販売しました。台湾や香港といった東アジアへはこれまで輸出していましたが、シンガポールへの輸出は初めてとなります。果物消費が高いアジアで販売し、更なる販路拡大を目指します。

販売したのはシンガポールの5店舗と今年新たに開店した香港の店舗。11月にはJA職員らが現地で「西条柿」「島根あんぽ」「干し柿」を販売PR。現地の人は「西条」の形と黄色の色味が珍しい様子でしたが、試食すると「甘くておいしい」と好評でした。現地のバイヤーからは「生果を来年は倍ぐらい取り扱いたい」と要望があり、対応した職員も「実際に販促して売れ行きや現地の人の反応もよかった」と手ごたえを得ました。今後は6月のデラウェアやシャインマスカットから西条柿の取扱いへとつながるよう交渉を進めていきます。



島根産西条柿のおいさをPRした(写真はシンガポールの店舗)

島根 おおち 地元の味覚を全国へ「味の絆」

島根おおち地区本部では、毎年お歳暮時期に合わせて、管内の農畜産物と加工品を贈答用品として取り扱う『味の絆』の発送を行っています。

この「味の絆」は、管内農畜産物の質の向上を目指すとともに、地元の味覚を全国に味わってもらおうと行なっているもので、北海道から沖縄まで、全国各地に発送しています。取扱う商品は、人気の石見和牛肉のすき焼きセットや管内の加工場で製造したきねつき餅の他、島根おおち地区本部で振興に取組む特別栽培米「石見高原ハープ米こしひかり」、[石見高原ハープ米きぬむすめ]また、石見高原ハープ米コシヒカリを原料とした純米酒「邑華」など15種の商品を取扱っています。

今後もより多くの方にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取組みを行ってまいります。

今年度の取扱いは、12月20日(金)の発送をもって終了となりました。



いわみ 中央 米袋でオロチ作り!

いわみ中央女性部金城波佐支部(佐々岡寿美枝部長)は11月3日の波佐文化祭で、神楽に登場するオロチを米袋で作成展示しました。

波佐支部ではこれまでも米袋でウエディングドレスとタキシードなどを作っており、今回は4作品目となります。今回オロチを制作するにあたり、特に頭(かしら)の部分に一番苦労しました。オロチの神楽面を借りるなど試行錯誤の中、製作期間およそ2か月の大作が完成しました。目と口は光るような仕掛けになっており、オロチを見た人は本物さながらの出来栄に感動していました。

今後は浜田市金城町波佐地区内の「小波の郷」にて常設展示される予定となっています。



**斐川 あぐり探検隊
「餅つき」「そば打ち」体験**

12月8日、斐川地区本部料理教室「ひかわアグリキッチンふぁみーゆ」で、今年最後の農業体験活動「あぐり探検隊」を開きました。隊員とその保護者15名が参加し「餅つき」と「そば打ち」体験をしました。「餅つき」で使用したもち米は、今年5月に隊員自ら田植えをし、刈り取ったもち米を使用しました。事務局と女性部が手ほどきをし、約20キロを昔ながらの臼と杵を使って挑戦し、隊員たちは力いっぱい杵を振り下ろして餅をつきました。また、斐川産のそば粉(出雲の舞)を使用した「そば打ち」では、



荘原地区の糸賀充氏と高橋義孝氏の指導の下、隊員たちは真剣な眼差しでポイントを学びました。担当職員は「この活動を通して子供たちが少しでも農業に関心を持ってくれると嬉しい」と話しました。隊員たちは全講座を修了し、食べ物の大切さ、農業の大変さを学びました。

石見銀山 農業用廃プラスチック回収

石見銀山地区本部が参画する大田市環境にやさしい農業推進協議会農業用廃プラスチック適正処理部会は12月2日と3日に大田市内の4会場で農業用廃プラスチックの回収を行いました。

3日の回収会場となった大田市久手町の刺鹿米倉庫では、53名の組合員・利用者が、ビニールや育苗箱、農業用マルチの回収を委託し、2日間で約14トンを回収しました。

今後もJA石見銀山地区本部では、関係機関と連携し、廃プラスチックの回収を通して、環境に配慮した農業の推進に取り組みます。



持ち込まれた廃プラスチックの計量を行う職員

隠岐 どうぜん 来店感謝デー開催

師走の年金支給日12月13日(金)に毎年恒例となった来店感謝デーを実施しました。

当地区本部3支店の統一粗品として、JA海士町農産加工場で海士町産もち米を使用して製造した「紅白餅」を日頃の感謝を込めて来店者にプレゼントしました。また西ノ島支店では、この時期利用者の要望と評判の高い「石焼き芋」を早朝から準備し、そしてグリーンストア(西ノ島)では歳末商品と直売野菜などの「割引歳末大売出し」を同日開催し、多くの方に来店いただきました。



**出雲 女性部・やすらぎ会が古着贈呈
JA役職員にも呼びかけ2,337枚**

JAしまね出雲女性部と同やすらぎ会が、「古着Tシャツで地域貢献活動」で集めたTシャツを出雲市の高齢者福祉施設「みどりの郷」4施設と就労継続支援事業所「[ぼてとはうす]」へ寄贈しました。ウエス(汚れを拭く布)として介護に役立ててもらおうと企画したもので、部員、会員のほかJA役職員にも呼びかけ、7~10月にかけて2,337枚を集めました。

12月13日に贈呈式を行い、同女性部の高野智子部長、同やすらぎ会の片伊勢妙子会長が「みどりの郷 出雲」の中尾忠正施設長にTシャツ700枚を贈りました。高野部長は「現場でウエスをよく使われると聞いて企画しました。今後もこのようなことでお役に立てるか情報収集し、地域貢献に努めたいと思います」と話しました。



高野部長(中央)と片伊勢会長(右)から中尾施設長(左)に贈呈

事業状況報告について

事業状況報告について

雲南地区本部は12月3日に「第4回運営委員会」、4日に「第2回総代代表者会」、7日に「第2回総代説明会」を開きました。

各会において、運営委員、代表総代、総代が出席される中、令和元年度上期事業報告ならびに、下期事業計画について報告しました。

※総代説明会の質疑応答の一部について要点をまとめて掲載しています。

◆ 日米貿易協定が締結され、農業の先行きに不安を感じている。特に米と和牛について今後の予測が分かれば教えてほしい。



◆ 日米貿易協定が発効された際、一番影響を受けるのは牛肉と豚肉だと思っています。1月1日には牛肉の関税が38.5%から26.6%になり、15年目には9%になるため、それに対していかに国内対策が打てるかということだと思っています。

米については国内需要が減少しており、食料・農業・農村基本計画でしっかりと生産基盤の強化を議論してもらえよう。JAグループあげて要望していきます。貿易協定については発効



JALまね雲南地区本部
常務理事本部長

竹下 克美

迎春

年頭のご挨拶

雲南地域の 農業振興と地域活性化に 最大限の努力を

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで新しい年をお迎えになられましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は皇位継承により、元号が「平成」から「令和」になり、新たな時代が幕を開けたところであり、しかしながら、昨年ほど自然災害が猛威を振るい、日本列島を蹂躪した年もありませんでした。台風15号、19号により関東地方、東北地方等では、多くの方々が罹災され、農畜産物にも甚大な被害をもたらしました。あらためて自然の脅威に対して畏怖を覚えると同時に一日も早い復興を願っております。

さて、国内農業は食料自給率が低迷する中、高齢化や担い手不足による生産基盤の縮小、TPP11、日EU・EPAさらには日米貿易協定の発効等で農業・農村を取り巻く環境は大きな岐路に立っています。また、JAを取り巻く経営環境も、長期化する日銀のマイナス金利に伴う金融・共済事業の収益縮小、少子

高齢化・人口減少等による経済市場の縮小などご多分に洩れず、厳しさが増している昨今であります。

このような中、JAしまねは発足以来、「信頼され、選ばれ、必要としていただけ」を目標として事業を展開して参りました。また、雲南地区本部も「食と農を基軸にした地域に根差した協同組合」とそれを支える「経営基盤の確立強化」を運営の柱にしてきました。

原風景ともいふべき、私たちが住むこの雲南地域は、人口減少に加えて農地、山林は荒廃の一途を辿りつつある状況と言っても過言ではありません。しかしながら私たちは「地域農業の衰退は地域の衰退」ということを肝に銘じ、一市二町との連携をより強固にし、皆様と共に雲南地域の農業振興と地域活性化に努めて参りたいと存じます。

この一年、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新たな年のご挨拶とさせていただきます。

後、農畜産物の生産量が今まで

のように確保できるかということが一番重要なので、それに向けた国内対策の充実を国に向けて話していかなければならないと考えています。

◆ JAしまねでは地区本部制が導入されているが、地域の特性を生かすという面から県全体で地域を補うような考えを持つべき。

◆ 地区本部独立採算性については、少なくとも向こう3カ年は地区本部制を踏襲していくことが確認されています。しかし、地区本部制があることによつて統合の効果が発揮できないという問題もあるため、信用事業については来年の3月を目標に事業本部制を取り入れようとしています。効率的な運営はどうあるべきかを今後3年間ですっきりと進めていきます。

◆ 産直事業で新しい直売所の計画が出ているが、この施設が大きな起爆剤となるよう努力をお願いするとともに、この

事業を成功させてもらいたい。

◆ 新しい産直について指定管理者が決定するのは令和3年の予定です。現在はその指定管理者になるべく粛々と準備を進めています。雲南地区本部では産直を1つの営農形態として位置づけ取り組んでいます。今後雲南地区本部は勿論、JAしまね本店のバックアップを得ながらこの事業に取り組みしていきます。

◆ 10月から消費税が増税となり、生産者にとって販売するものは8%、購入するものは10%と、今まで以上に生産コストの低減を考えなければなら



ない。今は肥料・農業の予約時期であるがほとんどのものが値上がりしているため、JAしまねとしてメーカーと強く交渉してほしい。

◆ 生産コストの低減は今後も終わりのないテーマだと思っています。原料や為替などが影響していますが、メーカーとの交渉、あるいは全農との交渉を含めてしっかりと行い「1円でも安く」という理念で取り組みを進めていきます。



農協農業協同組合 雲南地区本部総代説明会



ふれあい ニュース

雲南管内の
旬な情報をお届け!

UNNAN
FUREAI
NEWS

01 デイでクリスマス忘年会 鈴の音響きサンタ登場

雲南すずらん福祉センターで
サービスセンターは12月12日
から6日間、毎年恒例のクリスマス
忘年会を開きました。個人や
団体が日替わりで訪れ、歌謡
ショーや日本舞踊などを披露
し、利用者はいつもと違う雰
囲に心を弾ませました。
16日には「シャンシャンシャン」
とベルの音と共にサンタクロース
が訪れ、クリスマスケーキが贈ら
れました。予期せぬサンタの登
場に利用者は驚きながら拍手で
歓迎し、ケーキを味わいました。
「美味しいわ」「サンタに会えて
嬉しい」などと話し笑みをこぼ
しました。
サンタの正体は雲南市木次町
で飲食店を営む村松憲さ
さん。昭和39年に被災し自宅を
失った際、全国から支援を受け
て励まされたことへの恩返しと
して昭和52年から地元の幼稚園
や福祉施設、県内外の被災地に
ケーキを贈るボランティアをし
ています。
同センターの源之美所長は
「健康で末永く続けてほしい」と
感謝の言葉を贈りました。



▲村松さんからケーキを受け取る利用者

04 和牛でグローブ作り 高校生がJAを訪問

雲南市大東町の県立大東高
等学校の2年生は総合的な学
習の時間の一環として、自分の将
来の仕事や地元を活性化させる
ためにはどうすればいいかなど、
生徒自身が持つ興味・関心を探
究する活動に取り組んでいま
す。12月12日には地元産の牛皮
を使った野球グローブ作りを夢
みる同校の福岡大介さんが雲南
地区本部を訪れ、JAで育てら
れた牛の流通経路などグローブ
作りへのヒントを得ました。
小学生の頃から野球をはじめ
た福岡さんはいろいろなメー
カーのグローブをはめて試した
り見比べたりすることが好き
で、次第にグローブに魅かれてい
きました。将来的にはグローブ
を作ることができるとスポーツ
メーカーへの就職や、地元での独
立も考えています。福岡さんは
「牛皮の仕入れ方他にも、実際
に牛の質を触って確かめること



▲畜産課の那須悦夫課長から触り方を教わる福岡さん

05 あぐりキッズスクール 日本の伝統文化を体験

雲南地区本部が開校するあ
ぐりキッズスクールは12月21日、
修了式と今期最後の授業とし
て、伝統のしめ縄作りや紙コッ
プや新聞紙を使ったレクリエー
ションを行い参加者全員で交流
を深めました。
しめ縄作り体験では飯南町
大しめ縄創作館から講師を招
き、小型の「輪締め」を作りまし
た。ワラを撚り合わせて直径15



▲しめ縄作り挑戦するキッズ生

02 飛躍胸に団結 ブランド米振興大会

雲南市水田農業担い手協議会
は12月16日、雲南市三刀屋町の
三刀屋交流センターで生産者や
関係者ら約60人による雲南市ブ
ランド米振興大会を開きまし
た。4年目を迎えたプレミアムつ
や姫「たたら焰米」の取組成果
を確認。令和2年度からはさら
にブランド力の向上を図る新た
な認定基準を導入することと
し、一層の飛躍を胸に団結しま
した。
大会では、令和1年産優良生
産者の表彰も行われ、大東町の
田中政明さん、(農)みなみ村
(新田秀雄代表理事)が受賞。田
中さんは雲南市長杯を(農)み
なみ村は雲南地区本部長杯を
合わせて受賞しました。
同協議会の錦織満会長は「一
等米比率を限りなく100%に
もつていき、島根県つや姫は雲
南にあり」と言われるようにし
たい」と意気込みを語りまし
た。



▲左から雲南地区本部の竹下克美本部長、(農)みなみ村の新田代表、錦織会長、田中さん、速水雄一市長

03 消費者の生の声聞く ゆめタウンで合同販売会

出雲市大塚町のゆめタウン出
雲で、雲南市と安来市から出荷
された野菜の合同販売会が12月
13日に行われました。ゆめタウ
ンなどを展開する(株)イズミと
JAアグリ島根が企画し、今年
から取り組みが始まりました。
今回は、タキイ種苗(株)が
2018年に発売した「冬」のみ
ホウレンソウを、雲南市加茂町
の(農)三代原ファームが栽培し
てきた。まずは試作品を作っ
てみたいと意欲を語りました。
「冬のみホウレンソウ」は甘みが増し、マヨ
ネーズで炒めただけの
シンプルな試食に来店
者は「甘みがありとて
も美味しい」と話し、
好評を博しました。
初めて売り場を体
験した同法人の岡田礼子さんは
「小さい子供がいる家庭やお年
寄りの方は、価格よりも安全・安
心でおいしい野菜を求めている
と感じた。良い経験ができて良
かった」と話しました。



▲冬のみホウレンソウを紹介する岡田さん(左)

JAしまね総合ポイントカード おさいふカード

「おさいふカード」は、JAしまねの事業の利用、活動に参加された組合員・利用者の方へ、利用・参加状況に応じてポイントが貯まるカードです。また、JAしまねの関連会社(Aコープ等)の利用に応じてもポイントが貯まります。貯まったポイントは、JAで使えるお買物券・JA特産品等に交換することもできます。また、ラピタではお買物代金として支払ができるカードです。

- ① JAを利用する**
組合員・利用者
JAを利用する
- ② ポイントが貯まる**
総合ポイントカード
ポイントが貯まる
- ③ ポイントを使う**
お買物券
ラピタで!
お買物の代金支払い
特産品カタログ

この「ステッカー」、「のぼり」が目印です

JA利用店舗：グリーンセンター・JAグリーン、JA-SS、葬祭会館、カントリーエレベーター、金融/共済、農機/生産資材

お問い合わせは…最寄のJA支店まで (企画総務部総務課 ☎0854-42-9000)

申込不要!
だれでもご参加ください!

春まき野菜の栽培講習会

月日	時間	地区	場所	お問い合わせ先
令和2年 1月23日(木)	9:30~11:30	奥出雲	JA横田支店 会議室	奥出雲営農経済センター ☎52-1217
	13:30~15:30		JA仁多支店 会議室	仁多生産センター ☎54-1355
1月24日(金)	9:30~11:30	飯南	JA赤来支店 会議室	飯南営農経済センター ☎76-2967
	13:30~15:30		ふれあいホールみせん	頓原グリーンセンター ☎72-1031
1月27日(月)	9:30~11:30	雲南	雲南地区本部 第1会議室	中央営農経済センター ☎42-9055
	13:30~15:30		JA大東支店 会議室	大東グリーンセンター ☎43-2003
1月28日(火)	9:30~11:30		JA掛合支店 会議室	中央営農経済センター ☎42-9055
	13:30~15:30			

毎年恒例となっている野菜の栽培講習会です。人気の高い野菜の紹介から、おすすめの肥料・農薬などさまざまな情報を提供しています。参加費は無料、申込みも不要ですので、ぜひお近くの会場へ足をお運びください。皆さまのご参加お待ちしております。

- 講習会内容
 - 春まき野菜の栽培管理講習(60分)
「春まき野菜の栽培管理」と売れ筋農産物の品種特性について紹介します。
 - 無料配布野菜種子の栽培講習会(30分)
 - 島根県東部農林振興センター 雲南事務所からのご案内

●ご不明な点は… 営農部 米穀園芸課 **TEL.42-9115** または、各営農経済センター等までお問い合わせください。



卒業記念 東京夢紀行

- ご旅行実施日/ 令和2年3月25日(水)~27日(金)
- ご旅行代金/ 洋室2~3名/1室利用 **73,800円(税込)**
- 申込金/ 20,000円(旅行代金に充当します)
- 申込締切日/ 令和2年2月3日(月)
- 募集人員/ 40名様(最少催行人数35名様)
- 参加資格/ 小学6年生
- 添乗員/ 同行します

日程	行程	食事	宿泊地
1 3/25 (水)	JALしまね雲南地区本部各地 → 出雲縁結び空港 → 羽田空港 → お台場・フジテレビ球体展望室「はちたま」 → 上野動物園 → 東京スカイツリー®天望デッキ → マウンテン(夕食) → 東京都内(泊)	送迎/夕	マロウドイン 赤坂
2 3/26 (木)	ホテル → 東京ディズニーランド(夕食弁当) → 東京駅 → 新大阪駅 → 新大阪駅 → 新大阪駅 → 新大阪駅	朝/昼/夜	車中泊
3 3/27 (金)	JALしまね雲南地区本部各地		

当ツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。パンフレットのご請求先は、
JAしまね雲南旅行センター
TEL0854-42-9118
までお問い合わせください。

令和2年産 水稲暦 新規採用品目紹介

その2

アレリスC 中後期除草剤
[500ml] **4,343円(税込)**

- ◎茎葉への処理でこぼれ落ちた薬液が根からも吸収されます
- ◎有効成分が素早く吸収されるので降雨にも強い
- ◎高葉齢の雑草が繁茂してしまった田んぼへのレスキュー剤です

薬害を避けるために下記をお守りください。
①使用時期は移植25日後~出穂始期15日前まで ②着着剤は加用しない

レプラス 中後期除草剤
[400g] **4,114円(税込)**

- ◎大ヒット中後期除草剤「レプラス」にジャンボ剤が新登場!
- ◎塊茎を残す雑草が多い圃場には初・中期除草剤とレプラスの体系処理がおすすめです
- ◎塊茎形成を抑えるから多年生雑草の翌年の発生量を減らします

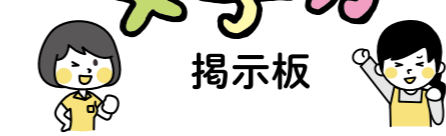
田んぼの守 土壌改良剤
[15kg] **1,622円(税込)**

- ◎雲南専用土づくり肥料が県下全域へ普及し「田んぼの守」にリニューアル
- ◎県下普及に伴い成分値を向上させつつ価格低減ができました
- ◎作業性を考えた15kg袋に規格が変更されました
反当施用量は60kg~100kgです

※表示価格は予約価格です

お求めはお近くのグリーンセンターへ!!

うなん 女子力 掲示板



JAしまね雲南女性部の活動を中心に、
「女子力」あふれる楽しい話題をお届けします。

JA女性部は、昭和28年に、農村女性特有の課題を解決するために設立されたものです。JA女性部の活動に賛同される方は、どなたでも(農業を営んでなくても)加入できます!!
あなたも地域の仲間と一緒に活動してみませんか。

女性部 掲示板

雲南吉田支部

おせち料理の一品に 手作りハム

とき/12月9日(月)~10日(火) ところ/吉田交流センター

毎年、添加物の少ない安全安心なハムを作る活動をしています。今年も多く参加者が集まり、3回に分けて実施しました。女性部秘伝の調味レシピで味付けされてできたハムは、絶妙な塩加減で、和気あいあいと作業を進めて交流を深めています。



本格的なハムができました!

第21回 島根県家の光大会



表彰を受けた吉田支部のみなさん

他にも地域交流活動として取り組んでいる「立体パズル紙芝居」などの活動が認められ、県の家の光大会で最優秀賞に選ばれました。令和2年2月には福岡県で開かれる全国大会に出場します。

各支部リレー紹介 NO.7
雲南吉田支部
☎0854-74-0131
担当:白築

各支部リレー紹介 NO.8
掛合支部
☎0854-62-0085
担当:福岡

掛合支部

ご来店感謝デーでおもてなし

とき/12月13日(金) ところ/掛合支店

12月の恒例イベント「ご来店感謝デー」では、女性部員が運営する「感謝デーカフェ」で皆さまをおもてなし♡温かい飲み物と感謝デー限定のオリジナル焼き菓子、そして「とびっきりの笑顔」を提供し大好評でした!



賑やかな空間になりました

また、支部活動の紹介や作品展示も行いました。中でも寄せ植えは人気の活動のひとつで、今年は盆栽風の寄せ植えに挑戦!!自分の庭を作るような気持ちで仕上げ、自慢の作品となりました。これからも楽しく活動していきたいです(*^_^*)



立派な寄せ植えにうっとり

JA女子大掲示板 12月の女子大日誌

温かな光に包まれて… オリジナルキャンドルづくり

とき/12月5日(木) ところ/雲南地区本部
◎講師/家の光地方講師 影山 和美氏

今回は2つのグループに分かれ、クリスマスにぴったりのオリジナルキャンドルづくりに挑戦しました。手の温度でやわらかくなるキャンドルシートを使い、自分の好きな色で花びらを一枚ずつ作って形を整えながら重ねていき完成させました。



カラフルなキャンドルでインスタ映え~

作り方は同じでも花びらの薄さや大きさなど個性ある作品ができあがり、みんなで写真撮影したり、感想を述べたりして交流も深めました。

JA女子大学雲南校とは? 多分野にわたる講座を受講することで、やりたいことを見つけ、新しい仲間を作っていく場所です。

●アンケートより
最初は手が冷たくなかなかシートを伸ばすことが難しかったです。出来上がりを見て、やっぱり初めのシートの伸ばし方で出来上がりが違うと感じました。とても楽しかったです。
(学籍番号 U8-014: 横原信子)

年金記録が 漏れやすいのはこんな人!

転職や結婚など、年金に加入し直すときなど記録が統合されないケースがあります。当てはまる項目をチェックしてみましょう。

- 年金記録を確認したことがない
- 「ねんきん定期便」の年金記録に空白期間がある
- 日本年金機構から届く通知をきちんと読んでいない
- 年金手帳が2冊以上ある
- 自分の名前が、性別を間違われやすい、またはさまざまな読み方がある
- 結婚で姓が変わる前、働いていた時期がある
- 離婚、再婚をして姓が変わったことがある
- 転職をしたことがある
- 短期間しか勤めていない会社の年金はあきらめている
- 保険の外交員や期間工として働いたことがある
- 家族や友人と年金の話をしたことがない

ひとつでも当てはまる場合は、年金記録に漏れや誤りがある可能性があります。年金事務所などで漏れていた記録を探してもらい、自分の年金記録に統合(一本化)されれば、年金額が増える可能性があります(場合によっては減額になることもあります)。

年金についてのご相談はJAで! 年金相談会のご案内

- 仁多支店
2月 5日(水) 10:00~15:00
 - 赤来支店
2月 19日(水) 10:00~15:00
- ◎お一人おひとりの相談会です。できるだけご予約下さい。
◎お問い合わせは、各支店窓口までお気軽にどうぞ。

JAバンクからのお知らせ

ただいま「JAバンクしまね」では

- ①子育て世代の方
- ②当JAにて給与・年金のお振込みの方
- ③当JAにて年金お振込みの予約の方

を対象に、住宅・マイカー・教育の各ローンお申し込み時に金利引き下げのご案内を行っております。

詳しくは各支店の窓口までお問い合わせ下さい。

平成30年産米 最終精算について

平成30年産米の最終精算単価が決まりましたのでお知らせいたします。

単位:円(税込)/30kg

集荷区分	種類	区分	等級	単価
一般集荷分	うるち・モチ・酒米	JA米・一般米	1~3等	140円

※契約栽培等、一部該当しない場合がありますのでご承知おき下さい。

収入・支出項目		単位	本精算
精算対象袋数		袋	189,689
収入	販売代金(地区本部販売)	円	1,119,048,429
	その他(本店精算分等)	円	2,925,135
合計 A		円	1,121,973,564
支出	概算金(生産者への支払済米代金)	円	973,680,250
	運賃・保管等に係る経費等	円	48,927,426
	販売手数料・電算に係る経費等	円	62,711,465
	PR・販売に関わる経費等	円	10,097,856
合計 B		円	1,095,416,997
収入-支出 C=A-B		円	26,556,567
仮精算 D		円	26,556,460
精算金26,556,460円/精算対象袋数189,689袋		円	140
翌年産共計繰越 C-D		円	107

● 生産者の皆様へ

平成30年産米の最終精算を行い、生産者の皆様には令和元年12月26日に振込いたしました。カントリーエレベーター出荷分については「平成30年産米三次払い」に精算単価を反映してお支払いいたします。平成30年産米精算端額107円については翌年産共同計算へ繰越をいたします。

雲南すずらん
福祉センターだより

◆ヘルパー定例会◆
◎と き 2月12日(水)
9時~13時
研修会は10時~14時
◎と ころ すずらん福祉センター
2階会議室

◎内 容 「感染症」の勉強会
◎講 師 サラヤ株式会社
福祉部担当者様

◆訪問介護員(ヘルパー)の募集◆
◎資 格 初任者研修以上、介護福祉士(研修制度あります)
◎勤務場所 雲南すずらん福祉センター
※施設介護職員・厨房職員(パート含む)の募集も行ってまいります。

●(相談お問い合わせは)雲南すずらん福祉センター ☎0854429120

2月の外勤日 12(水) 13(木) 14(金)

※支店によっては変更する場合があります。詳しくはお近くのJA窓口までお問合せ下さい。

畜産市況 12月

令和元年12月の全国主要子牛市場平均価格は、雌718,432円(前月比101%)、去勢808,611円(前月比99%)、計770,215円(前月比100%)で、保合の取引となっています。

●子牛市場成績表		中央「反落」の相場展開				
地区名	種別	取引頭数	最高価格	最低価格	平均金額	キロ単価
雲南地区	雌	41	823,900	320,100	608,434	2,171
	去	52	1,168,200	554,400	844,123	2,853
中央市場	雌	133	892,100	293,700	608,995	2,207
	雄	6	737,000	660,000	672,833	4,536
	去	159	1,168,200	525,800	817,009	2,745

12月の 運営委員会だより

- (12月3日開催)
- ※当日出たご意見要望の一部について要点をまとめて掲載しています。
- ①(協議事項) 令和元年度上期事業報告について
②令和元年度下期事業計画について
③地区本部業績還元の実施について
④雲南地区本部財務調整について
⑤支店別意見交換会の意見要望に対する今後の対応について
⑥その他

【質疑応答】

Q 正組合員の魅力といたったときに、サービスを強化することも必要ではないか。今年はいノシシによる被害が増え、農家・組合員に対するサービスとしてJAはいノシシ駆除についてどのような対策をとっているか。

A 鳥獣被害の対策については森林組合や行政とも連携する必要がある。食料・農業・農村基本計画の議論が本格化する中、中山間地域を守るような法律、農業計画を立てるようJAグループ

Q 吉田グリーンセンターの6月末閉店について、売上が3年間で激減していることに対して、JAとして原因究明をしっかりと行ってほしい。

A 吉田地区については、大口取引や法人間連携も広域的に進んでおり、グリーンセンター窓口以外の取引が多く発生しています。生産資材事業については、予約購買によって集約化した中で価格を抑えて提供を行っているため、店舗の窓口での販売が極端に低下したことから店舗購買の一定の役割は果たしていると認識しています。

令和1年産米 上位等級比率ならびに集荷数量

(上位等級比率) 12月27日現在

種類	仁多	横田	大東	加茂	木次	三刀屋
コシヒカリ	92.1%	94.7%	25.3%	12.1%	18.8%	33.3%
きぬむすめ	97.5%	100%	80.1%	65.4%	63.7%	55.2%
つや姫			78.2%	58.7%	41.4%	68.5%
うるち米計	91.9%	94.9%	53.6%	35.5%	35.5%	44.8%
酒 米	63.5%	59.3%	22.8%			31.2%
もち 米	70.2%	76.0%	16.4%	0.00%	0.00%	0.00%
産米全体	86.2%	92.6%	50.0%	35.4%	35.3%	44.1%

(集荷数量) 単位:30kg/袋

品 種	仁多	横田	大東	加茂	木次	三刀屋
コシヒカリ	28,630	42,815	14,565	6,223	4,336	5,423
きぬむすめ	554	62	13,000	5,033	2,360	3,779
つや姫			2,287	2,705	475	822
うるち米計	29,501	44,029	31,610	17,424	7,258	10,648
酒 米	5,051	1,690	3,920			459
もち 米	3,226	2,702	214	12	35	12
合 計	37,778	48,421	35,744	17,436	7,293	11,119

※カントリーエレベーターの推定実績を含んでおります。

おたより紹介

「タータンで農業に取り組む生産者について」

●他県からタータンで農業に取り組む人たちの話を聞くと、先行きが明るくなりそうです。頑張ってもらいたいと思います。(三刀屋町・Iさん)

●トビックスにショウガが開花とあり驚きましたが、大阪からタータンで来られた方とありさらに驚きました。(加茂町・Mさん)

◎皆さんが読んだときに明るくなるような、そんな話題を届けていけるようこれからも頑張りますので、本年もどうぞよろしく願っています。

クロスワードパズル先月号の答え「エキデン」について

●お正月はコタツに入りおせちを食べ、箱根駅伝を毎年見えています。(奥出雲町・Kさん)

◎これから駅伝、マラソンが毎週のように開催されるのでコタツで暖まりながらテレビで見たいです。(掛合町・Oさん)

◎おせちやミカンのコタツで食べながらお正月のテレビを見る…。最高の贅沢だと思います!まだまだ寒い日が続きますので体調には気をつけてお過ごしください。

●人事異動(1月1日付)
▼本店金融部事務集中課(金融共済部金融推進課)高野美沙様 ※()内は旧部署

令和1年産 追加確定金単価について

単位:円(税込)/30kg

品種・銘柄	1~3等
コシヒカリ	200
きぬむすめ	200
つや姫	200
ハナエチゼン	300
一般米うるち	100
もち米(団地)	250
もち米(団地以外)	350

品種・銘柄	特上~3等
五百万石	200
神の舞	150
佐香錦	200
改良雄町	50
改良八反流	50
山田錦	300
緑の舞	300

※一部該当しない場合(規格外等)または、上記単価に当てはまらないものもありますのでご承知ください。
※カントリーエレベーター出荷分については「令和1年産米二次払い」に単価を反映してお支払いいたします。

JAしまね組合員様限定 足立美術館 優待プラン

入館料金(大人1名様) 通常 2,300円 → 1,500円(税込)

特別割引券をご用意しております。
ご希望の方は最寄りのJA旅行センター又は
県内農協観光各支店にご依頼下さい。
※ご利用対象はご本人様及びそのご家族と
させていただきます。
高校生/通常1,000円→700円
小中学生/通常500円→300円

〈冬季特別展〉2月29日(土)まで開催中
日本画のテーマ
巨匠が愛した美
画家たちが生涯に数多く描いたテーマに注目して作品をご紹介します。
日本画の巨匠たちが愛し、追求した美をお楽しみください。

開館50周年記念 『魯山人館』2020年4月1日オープン
足立美術館が開館50周年を迎える
2020年春、新たに『魯山人館』が
オープンします。
北大路魯山人の作品を鑑賞するた
めに設計された展示空間で、当館コ
レクションの中から、常時約120点
をご紹介します。魯山人の芸術を心ゆく
まで堪能できる場となることでしょう。



JR安来駅より無料シャトルバスあり。
ダイヤはホームページでご確認下さい。
<http://www.adachi-museum.or.jp/>
■開館時間/10月~3月:午前9時~午後5時
4月~9月:午前9時~午後5時30分
年中無休(新館のみ展示替えのため休館日あり)

足立美術館
ADACHI MUSEUM OF ART
安来市古川町320 TEL.0854-28-7111 FAX.0854-28-6733

株式会社農協観光 [プラン有効期限]2021年3月31日まで

農協観光 島根支店 ☎0852-26-2600 農協観光 出雲営業支店 ☎0853-21-3305
JAしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699 JAしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625
JAしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118 JAしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501
JAしまね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008
JAしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820
JAしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

クロスワードパズル

出題●ニコリ

タテのカギ

- 雲が浮かんだり星が輝いたり
- 2月23日は——誕生日。国民の祝日です
- 受験生が縁起を担いで食べることもある揚げ物
- 人が並ぶとできます
- 港——。城下——。——工場
- 良いだしが出る海藻
- しばしば野党とやり合います
- 2020年は——年。2月が29日まであります
- 将棋の盤面に並べる物
- 走り高跳びの選手が跳び越えます
- 読経に合わせてポクポクたたきます
- 縁、結、続に共通の部首
- XとZの間

ヨコのカギ

- 鬼は——、福は内
- 天井とかもいのに間に作られます
- 元素記号はFe。身近な金属です
- 銭湯へ入るときにくぐることも
- 床側に腹を向けて寝そべります。——寝
- 自然の美しい風景を表す言葉、——風月
- ちらしやCMもこの一手法
- 赤い花が咲く梅のこと
- √の記号で表します
- 出発——になって忘れ物に気付いた
- 寺院へ入るときにくぐることも
- 酒を飲むと回る人もいます

二重マスの文字をA~Fの順に並べて
できる言葉は何でしょうか?

1	6		11	13	17	20
2		9		14		
	7		12			
3					18	
		10		15		
4	8			16		21
5					19	

答え A B C D E F

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名(JAしまね全体)の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒699-1395 雲南市木次町里方1088-6
JAしまね 雲南地区本部 ふれあい課「クイズ」係
2020年2月5日(水)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆

「エキデン」

ハ	ツ	モ	ウ	デ	キ	セ
ヤ	マ	チ	カ	ミ	セ	
ク	フ	ジ	カ	チ		
チ	エ	ロ	ケ	ン	リ	
コ	イ	カ	コ	ヨ		
ト	ジ	フ	タ	オ	ウ	
バ	キ	ズ	グ	ス	リ	

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

得々プラン

山陰・山陽×沖縄 ケンミンSHOKU会席

期間 1/5(日)~4/26(日)

お1人様/1泊2食付 一室3名様~ **12,000円** (税込)

お1人様/1泊2食付 一室2名様 **14,000円** (税込)

除外日:土曜日、休前日

山陰・山陽×沖縄 ケンミンSHOKU会席
「食前酒 地産ワイン」「前菜 沖縄産の豆類珍味」「シマミ(豆腐)」「揚げ物 揚げ豆腐」「焼き物 鶏と里芋の90分焼き」「焼物 焼きたまごの土手焼き」「和食 鶏と里芋の90分焼き」「焼物 焼きたまごの土手焼き」「和食 鶏と里芋の90分焼き」

ホテル玉泉 利用割引
JA共済保養施設利用割引 - がご利用頂けます。
割引対象/島根県JA共済加入者、組合員およびその家族
割引金額/宿泊 2,000円 休憩 1,000円
※一人当たりの利用金額が3,500円以上の場合適用致します。

JA共済の宿泊保養施設 出水の庭 ホテル玉泉
出雲・玉造温泉 政府登録国際観光旅館(登録第880号)
島根県松江市玉造町玉造53-2
<https://www.hotel-gyokusen.co.jp>
TEL.0852-62-0021(代)

健康散歩 風邪の予防に乾燥対策を!

JA島根厚生連

冬は寒だけでなく、空気中の湿度が低くなり乾燥も気になる季節です。部屋を暖めるために暖房を使用することも多いと思いますが、それによって湿度はさらに下がり、空気がより乾燥してしまいます。

空気の乾燥は、髪や肌など美容面への影響だけでなく、口や鼻の粘膜を乾燥させ風邪やインフルエンザなどの感染に対する防御機能を低下させてしまいます。そのため、風邪にかかり、体調を崩す方も多くなります。子どもや高齢の方は抵抗力が弱く、大人に比べるとウイルスに感染しやすいです。そこで、乾燥対策をしっかり行い、風邪やインフルエンザの予防に努めることが大切になります。

生活をするうえでの適正な湿度は、40~60%と言われています。湿度が40%を下回るとインフルエンザウイルス等が浮遊しやすくなってしまいます。反対に湿度が高くなり、50%以上になるとそれらは減少すると言われています。まずは、自分の部屋の湿度がどのくらいなのかを知るためにも、湿度計を使い部屋の湿度を確認してみましょう。加湿の方法として、加湿器の使用は有効です。また、加湿器を使う以外にもストーブの上にやかんを置いたり、濡れたバスタオルや洗たく物を室内に干したりすることでも乾燥対策になります。

風邪やインフルエンザの予防には、もちろん手洗いやうがい、免疫力を上げるための食事・睡眠も効果的です。加えて今年は乾燥対策をして、より快適に、より健康に冬を過ごしてみませんか。

